

第5期

運用報告書(全体版)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単字型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2012年10月30日から2017年10月20日までです。
運用方針	主として、高格付（取得時においてA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。 投資対象とするユーロ円建て債券は、米ドル／円為替レートの水準に応じてクーポンが決定される仕組みです。
主要投資対象	高格付（取得時において、A格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年4月21日、10月21日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

為替参照 分配金変動型 円建て債券ファンド2012-10 (愛称 グッド・スマイル2012-10)

【2015年4月21日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
皆様の「為替参照 分配金変動型円建て債券ファンド2012-10（愛称 グッド・スマイル2012-10）」は、2015年4月21日に第5期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00~17:00）

[ホームページ]
<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受益者 利益回り	米ドル/円為替レート		債 組 入 比 率	券 元 残 存 率
		税金 分配	み 金 騰 落	中 期 騰 落 率		(参考為替)	騰 落 率		
(設定日) 2012年10月30日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	円 79.46	% -	% -	% 100.0
1期(2013年4月22日)	9,666	50	△284	△2.8	△5.9	99.76	25.5	98.7	98.5
2期(2013年10月21日)	9,858	50	242	2.5	△0.4	98.02	△1.7	98.7	97.7
3期(2014年4月21日)	9,890	50	82	0.8	0.3	102.55	4.6	98.6	96.8
4期(2014年10月21日)	9,942	50	102	1.0	0.7	106.39	3.7	98.5	96.1
5期(2015年4月21日)	9,952	50	60	0.6	0.8	119.44	12.3	98.5	94.7

(注) 基準価額および分配金(税込み)は1万口当たり、設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。

(注) 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税込み)込みです。

(注) 受益者利回りは、設定来の年率換算利回りです。

(注) 米ドル/円為替レートは、当日の東京時間午後3時におけるロイター画面「JPNU」に表示される米ドル/円為替相場(1米ドルに対する円の価値)の仲値(売値と買値の平均値(小数点以下第3位切り捨て))です。米ドル/円為替レートは、参考為替であり、当ファンドのベンチマークではありません。米ドル/円為替レートの仲値は、トムソン・ロイター・マーケティング株式会社のデータを基に、岡三アセットマネジメントが算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額	騰 落 率	米ドル/円為替レート		債 組 入 比 率
			(参考為替)	騰 落 率	
(期首) 2014年10月21日	円 9,942	% -	円 106.39	% -	% 98.5
10月末	9,936	△0.1	110.88	4.2	98.2
11月末	9,941	△0.0	118.21	11.1	98.2
12月末	9,942	0.0	120.41	13.2	98.2
2015年1月末	9,956	0.1	117.82	10.7	98.3
2月末	9,941	△0.0	119.18	12.0	98.3
3月末	9,975	0.3	120.11	12.9	98.0
(期末) 2015年4月21日	10,002	0.6	119.44	12.3	98.5

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初為替	79.68円 ※2012年10月30日、2012年10月31日及び2012年11月1日における米ドル/円為替レートの平均値（小数点以下第3位切捨て）とします。 《参照した3営業日間の米ドル/円為替レート》 2012年10月30日 79.46円 2012年10月31日 79.58円 2012年11月 1日 80.02円		
分配額判定為替	74.68円 ※当初為替に対して5円円高米ドル安の為替レートとします。		
ファンドの信託報酬率	毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.2484%（税抜0.23%） うち委託会社 年率0.2160%（税抜0.20%） うち受託会社 年率0.0324%（税抜0.03%） ※当期末における消費税率は8%です。 設定日：信託財産の元本総額に対して1.05%（税抜1.00%） うち販売会社 1.05%（税抜1.00%） ※設定日における消費税率は5%です。		
目標分配額 (1万口当たり、税込み)	高位の目標分配額	低位の目標分配額	
	各期50円	各期20円	
※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものであります。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。 ※各計算期間において大量の途中換金の申込を受けた場合には、目標とする分配額の一部あるいは全部をお支払いできないことがあります。			
ユーロ円建て債券の発行体	クレディ・アグリコル・CIB・ファイナンス (ガンジー) リミテッド 〔保証会社:クレディ・アグリコル・CIB〕 ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。	発行体格付 スタンダード・アンド・ プアーズ ムーディーズ	設定日 A A2
			当期末 A A2

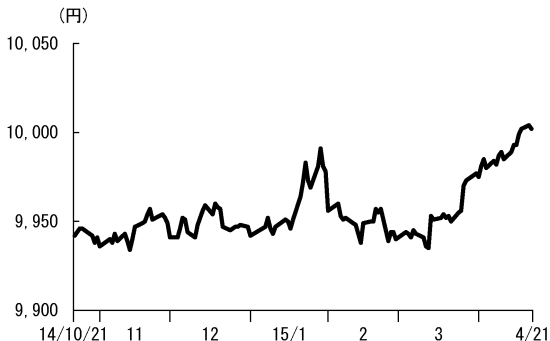
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

◎基準価額の推移

基準価額は、前期末の9,942円から当期末には9,952円（分配金落後）となりました。なお、当期末に50円（税込み）の分配金をお支払いしましたので、分配金を含めると60円の値上がりとなりました。

基準価額の推移



（注）基準価額は1万円当たり、期末の基準価額は分配金（税込み）込みです。

◎基準価額の変動要因

（主なプラス要因）

- ・国内金利が低下したことがプラスに寄与しました。
- ・当ファンドで組入れているユーロ円建て債券の発行体であるクレディ・アグリコル・CIBの信用スプレッド（国債に対する利回り格差）が、概ねレンジ内で推移し、債券保有期間に応じた収益が積み上がったことがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・特にありません。

◎投資環境（市況）

（債券市場）

日銀の国債買入れによる需給の逼迫に加え、スイス中央銀行が預金金利のマイナス幅を拡大し、世界的に債券利回りが低下したことから、わが国の長期債利回りも大幅に低下しました。しかし、急激な利回り低下に対する警戒感に加え、米国での早期利上げ観測から米長期金利が上昇した影響を受け、長期債利回りは上昇しました。ただ、期末にかけては、欧州中央銀行（ECB）が量的緩和を開始したことを受け、長期債利回りは再度低下しました。

（為替市場）

日銀が追加の金融緩和を実施したことに加え、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が資産配分を見直し、外国株式と外国債券の投資比率を上げたことが円安要因となりました。一方、米国では2015年の年央以降の利上げが意識されたことがドル高要因となりました。この結果、当期間において、米ドル/円為替レートは、12.3%程度上昇しました。

（クレジット市場）

クレディ・アグリコル・CIBの信用スプレッドは、原油価格の急落を受けて金融市場が不安定化したことや、ギリシャ情勢に対する懸念が強まり、拡大する場面もありました。ただ、欧米株価が堅調に推移したことから、期を通して概ねレンジ内での推移となりました。

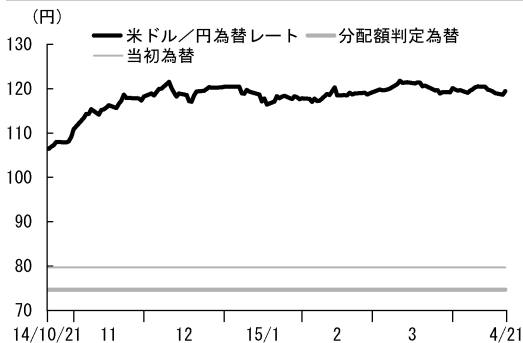
◎ポートフォリオについて

当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日に買い付けた、米ドル/円為替レートの水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つ、クレディ・アグリコル・CIB・ファイナンス（ガーンジー）リミテッド（保証会社：クレディ・アグリコル・CIB）発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。期中に一部解約があったため、ユーロ円建て債券を解約相当額売却しました。

◎参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金を考慮した基準価額の騰落率は、参考為替としている米ドル/円為替レートの騰落率を下回りました。

米ドル/円為替レートの推移



◎分配金

当期の収益分配金は、分配額判定日(2015年3月16日)の米ドル/円為替レートの水準が121.17円となり、分配額判定為替である74.68円よりも米ドル高円安となっていたため、高位の目標分配額である1万口当たり50円(税込み)とさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

◎今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年10月22日～2015年4月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.124	(a)信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(10)	(0.109)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(－)	(－)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	13	0.129	
期中の平均基準価額は、9,948円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年10月22日～2015年4月21日)

公社債

		買付額	売付額
国内	普通社債券(含む投資法人債券)	千円 —	千円 24,443

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未满是切り捨てです。

(注) 普通社債券(含む投資法人債券)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月22日～2015年4月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年4月21日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末				残存期間別組入比率		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
					%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	千円 1,659,058 (1,659,058)	千円 1,644,956 (1,644,956)	% 98.5 (98.5)	% — (—)	% — (—)	% 98.5 (98.5)	% — (—)
合 計	1,659,058 (1,659,058)	1,644,956 (1,644,956)	98.5 (98.5)	— (—)	— (—)	98.5 (98.5)	— (—)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未满是切り捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)		%	千円	千円	
CREDIT AGRICOLE CIB	20171016	—	1,659,058	1,644,956	2017/10/16
小 計			1,659,058	1,644,956	
合 計			1,659,058	1,644,956	

(注) 額面金額・評価額の単位未满是切り捨てです。

(注) 利率は、米ドル/円為替レートの水準によって決定されます。

○投資信託財産の構成

(2015年4月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,644,956	97.3
コール・ローン等、その他	45,962	2.7
投資信託財産総額	1,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,690,918,646
コール・ローン等	45,701,358
公社債(評価額)	1,644,956,859
未収利息	12
その他未収収益	260,417
(B) 負債	20,533,752
未払収益分配金	8,391,827
未払解約金	9,960,000
未払信託報酬	2,090,617
その他未払費用	91,308
(C) 純資産総額(A-B)	1,670,384,894
元本	1,678,365,588
次期繰越損益金	△ 7,980,694
(D) 受益権総口数	1,678,365,588口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,952円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.9952円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は7,980,694円です。

(注) 当ファンドの設定元本額は1,772,075,588円、期首元本額は1,703,365,588円、期末における元本残存率は94.7%です。

○損益の状況 (2014年10月22日～2015年4月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,690,979
受取利息	11,535,054
その他収益金	155,925
(B) 有価証券売買損益	△ 269,467
売買損	△ 269,467
(C) 有価証券評価差損益	883,565
(D) 信託報酬等	△ 2,192,204
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	10,112,873
(F) 前期繰越損益金	△ 9,868,340
(G) 解約差損益金	166,600
(H) 計(E+F+G)	411,133
(I) 収益分配金	△ 8,391,827
次期繰越損益金(H+I)	△ 7,980,694

(注) 損益の状況の中で、(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金
計算期間末における当ファンドの配当等収益額(11,690,979円)から経費(2,192,204円)を控除した額(9,498,775円)に、期末の受益権口数(1,678,365,588口)を乗じて期中の平均受益権口数(1,694,651,302口)で除することにより分配可能額は(9,407,491円)(10,000口当たり56円)であり、うち8,391,827円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	50円
支払開始日	2015年4月27日（月）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店

〈お知らせ〉

- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 - ①運用企画部の新設
 - ②投資調査部を投資情報部に改称
 - ③運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④トレーディング部を運用本部から分離